ReMORI MONTHLY

VOL.11

2023.5

(故)矢﨑信二さん、坂本龍一さんを偲ぶ

天皇誕生日だった毎年４月２９日は、椨原町では森林ボランティアの日です。椨原町と協働する環境先進企業の皆さんが、毎年“矢崎の森”に集合し、森林整備を重ねてきました。それを広葉樹の植樹に変えたのは３年前で、令和の森林づくりのメインイベントとなりました。

当日は朝９時半から、役場アトリウムにおいて開会式を行いましたが、協働の森づくり事業に関わった矢﨑信二さんと坂本龍一さんに対する黙とうから始まりました。昨年急逝された矢﨑信二さんは、矢崎総業を自動車部品の大手メーカーとして、世界各地に工場進出させ、年商２兆円企業に育てた方で、協働事業にも先陣を切って参画いただきました。また、ペレット製造の木質バイオマス地域循環プロジェクトについても尽力され、椨原町の”環境モデル都市”認定に大きく貢献いただきました。

もうお一方は、音楽家の坂本龍一さんです。坂本さんは“more trees”の代表として、椨原の森づくりなど全国、また海外にも環境活動の輪を広げました。各種のソフト事業を展開し、山村に興味を持つ都会人を案内し続け、椨原ファンを増やしてくださいました。

惜しまれてご逝去されたお二人に黙とうを捧げて、感謝の意を伝え、ご冥福を祈りました。

新たな企業が参加

開会式では、主催者を代表して椨原町森林づくり会議の土釜会長と吉田町長が「気候が年々激しく（乱暴に）なります。温暖化を防止する木々を一本一本植えてゆきましょう」と歓迎の挨拶を送りました。続いて、県や森林管理局などの参加団体や企業が紹介され、新たに参加した東京に本社を構える長瀬産業の皆さんに大きな拍手が湧きました。

協働の森づくり事業をはじめ、椨原町と企業のコラボレーションは、新たな参加の動きが来ているようです。“脱炭素”の取り組みが法人（企業）に広がっているのでしょう。今回は参加できなかった三井住友カードや青山商事（洋服の青山）も今後、令和の森林づくりに一役買っていただけると思います。

今年の参加者は遠く関東や中四国各地から約九十人、地元参加やサポーターを含めると百人を超えました。が、残念ながら雨天。しかし、去年より小降りで、かつ温かい。ラッキーでした。場所は去年の隣接地で越知面でしたが、地拵えの担当が違っていました。

矢崎グループの四国部品が地拵え

前号で、『一年間のチャレンジ　四国部品　造林事業に二名』とお伝えしました。これまで自動車部品（ワイヤーハーネス）の製造に当たってきた四国部品越知工場の中堅社員・河添昭人と岡良雄の両氏が約〇・四㌶の地拵えを担いました。作業は慣れぬ仕事ゆえ、また傾斜が結構あったこともあり、計二十二日かかったそうです。

この日、参加者が植えた樹種は、トチノキ、イタヤカエデ、カツラ、山桜、ウメの計五百本。雨の中でしたが、助け合って一時間強で無事作業を終えました。

お二人に聞くと、次の感想が返ってきました。

令和五年四月より森林事業に従事させて頂く事となり、初回の作業として四月二十九日に行われます協働の森づくり事業イベント会場の施業を実施させて頂きました。

この施業現場では急斜面に歩道を造る事や地拵えをする事、杭となる竹を刈取し調達する事等々、昨年夏のトライアル時にはなかった新しい経験をさせて頂きました。作った竹杭を会場へ搬入するのですが、遊歩道を使い徒歩で杭束を担いで上がる方法しかなく、これが一番辛かったです。

作業全体では少し時間が掛かったのかもしれませんが自分的には満足のいく仕上がりです。二十九日のイベント当日は沢山の方々のご参加があり、この協働の森づくり事業が広く知られている事業だなと実感しました。

あいにくの雨模様で足元も滑りやすいコンディションでしたがスムーズ且つ丁寧な植栽で一時間足らずで無事作業を終えられていた様です。参加された皆様お疲れさまでした。

今後も下刈り作業等に従事させて頂く事もあろうかと思いますので自分達が仕上げたこの場所の幼木達の成長が楽しみです。

昨年トライアルに続き今回の現場作業と合わせてもまだ四十日程度の山仕事ですが、この現場で得られた経験を次回現場でも生かせられる様頑張っていきたいと思います。

河添

四月より田野々にて今回行われたイベント会場の施業にあたりました。歩道づくり・地拵え・杭立てをしましたが、中々の傾斜もあり、また歩道づくりの時には大きな石なども多く、自分なりに苦労したと言える施業でした。

昨年のトライアルより半年間が経過し、体力的にも少し低下していたこともあり、現場までの上り下りだけでも当初きつく感じました。ただ肉体的にはきつくても精神的にはやりがいもあり、頑張って仕上げた現場を見て感動もあり、とても楽しく気持ちの良い仕事だと改めて感じました。

まだまだ初心者で未熟ではありますが、早く現場を任せてもらえるように頑張っていきたいと思います。

また本事業当日は生憎の雨でしたが、沢山の人達が参加し植樹をしていただきました。傾斜のきつい所もあり、雨も降っているので怪我とかが発生しないか心配していましたが、無事終わる事が出来て本当に良かったです。

何十年とかかると思いますが、いずれ立派な森になっている事だと思います。その森づくりに自分も関われた事が凄くうれしく思います。

岡

着任した畠さん
（林野庁からの出向）の挨拶

林野庁宇和島森林管理署に帰任した藤木さんの後任に、林野庁から畠義博さんが四月に着任しました。椨原の取り組みの印象を短く綴ってもらいました。

四月より、藤木の後任で森林の文化創造推進課に着任しました畠です。

まだ着任して日も浅く、椨原の取り組みのすべてを把握できているわけではありませんが、この一ヶ月での第一印象としては、豊かな森林を守ることはもちろん、資源として活用しながら、生業としての林業も守っていくために、町独自の取り組みがとても充実しており、また林業に従事する皆さんが、これからの林業のため、担い手育成のためにどうすればよいかという問題に対して、非常に前向きで積極的だと感じています。加えて、令和の森林づくりもそうでしたが、たくさんの環境先進企業と共に森林・林業を考え、歩んでいく方針についても、外部との接点がないと、ともすれば閉鎖的で現状維持に留まりかねませんが、そんな状況を打破し、刺激的で新しい知見や技術の発見、吸収に繋がる、将来を見据えた素晴らしいものと思います。

私自身も、そんな素晴らしい椨原の取り組みの一助となれるように頑張りますので、これからよろしくお願いいたします。

畠

【編集・発行】　ReMORI　椨原令和の森林づくり協議会　　角金・長谷川・笹岡　【お問い合せ】椨原町役場森林の文化創造推進課　【お電話】0889-65-0811